



学校の特徴

本校は、城陽小学校からの分離新設校として、平成8年に開校しました。校舎棟は日本瓦を配した勾配屋根で、琵琶湖のヘドロを原料にしたタイルを施すなど、街の顔としてのシンボル性を高めています。また、豊富な植栽により一年を通して緑豊かな自然に親しめる教育環境が整備されています。



校舎内も、普通教室に隣接して廊下拡張型のワークスペースを配置したオープン型で、教育内容や教育方法の多様化への対応に配慮されているほか、地域コミュニティの核となるよう施設整備についてもさまざまな工夫が凝らされています。

学校教育目標『自己の生き方にきびしく人の心にやさしくともに生きる子どもの育成』の達成に向けて、開校以来「心のふるさとづくり」を合い言葉に、子ども一人ひとりが活躍でき、他者を思いやり互いに励まし合える集団づくりをめざして、学校づくりに取り組んできました。

平成 11 年度から 13 年度は、文部科学省・彦根市教育委員会指定研究『教育課程の基準改善のための研究開発』を行い、「かかわりあいを核として、気づき、求めつづける学習のあり方」のテーマで、総合的な学習の時間の開発に取り組み、それを基盤に、平成 14 年度・15 年度は、文部科学省・彦根市教育委員会指定研究『体験活動を生かした心に響く道徳教育』に取り組んできました。さらに、平成 16 年度からは、校内研究主題を「子どもの学びを問う ～ 実感・納得・感動のある授業づくり～」とし、毎年、自主研究発表会を開催しています。



本校では、学校教育目標の達成に向けて、21 世紀を生き抜く力としての「若葉教育の根っこ」を・人間としての根っこ・学びの根っこ・信頼される学校としての根っこ、の3点において教育活動を進めています。この3つの根っこを確立するために、心に響く道徳教育の充実・教科指導の充実と確かな学力の育成・特色ある教育活動の充実に取り組んでいます。

本校では開校以来、校地内の植栽を学習対象にして、「おはようタイム」と称する異年齢児童がペアを組んで植栽にかかわり続ける活動を大切にしています。この活動によって、四季につれて移り変わる自然の些細な変化に気づき、自然への畏敬の念や樹や花への愛おしさを抱き、人と人との結びつきの温かさを実感し、学校や地域への「ふるさと心」を育てようとしています。



学校教育目標達成に向けて、若葉っ子の合い言葉「あいさつは笑顔をそえてわたしから」「1メートルのやさしさそうじ」「心を正すはきものそろえ」の3点を具体的実践事項として継続指導をしています。とりわけ、「心を正すはきものそろえ」は一校一行の取り組みとして、当たり前前が当たり前前になるよう日々指導しています。





校内研究

1. 研究主題

子どもの学びを問う ～実感・納得・感動のある授業づくり～

2. 主題設定の理由

本校は、学校教育目標『**自己の生き方にきびしく
人の心にやさしく ともに生きる子どもの育成**』の達成に向けて、開校以来「心のふるさとづくり」を合い言葉に、学校づくりに取り組んできました。



本校では、学校教育目標の達成に向けて、若葉教育の基盤となる教育方針(根っこづくり)を次の3点において教育活動を進めています。

- ・ **学びの根っこづくり**
- ・ **人間としての根っこづくり**
- ・ **信頼される学校としての根っこづくり**

この3つの根っこを確立するために、教科指導の充実と確かな学力の育成、心に響く道徳教育の充実、特色ある教育活動の充実に、より一層取り組んでいかなければならないと考えています。

3. 研究の内容

(1) 教科指導の充実と確かな学力の育成

～学びの根っこづくり～

本校では、自己の表現の一つである「書く」活動を窓口とし、「書く」活動を支える知識(語彙・表記・文法・内容構成・表現方法等)の確実な定着をめざすとともに、「書く」活動の場面や目的、方法等の指導内容の充実を図り、自らが、これら知識等を活用する力の育成をめざしています。そのために、「書くこと」について、学年の系統性を考えながら、本校における具体的で、すぐに実践できる指導方法・学習形態を検討し、「若葉小国語科の学びのスタイル」を確かなものにしてきています。さらに、目標の明確化や形成的評価の工夫などの取り組みを通して指導と評価の一体化を図り、確かな学力の育成につなげていきたいと考えています。

(2) 心に響く道徳教育の充実

～人間としての根っこづくり～

道徳の時間においては、子どもの体験が生きる教材(資料)を精選し、各教科の学習内容および学校行事等との関連から、時期と教材の適時性を考えて教育課程に位置づけています。また、各教科、特別活動および総合的な学習の時間との密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導を行い、子どもが自らの体験をふりかえり、自らを見つめ直すことのできる授業のあり方を追究していきたいと考えています。

また、道徳的心情の育成は、日頃の子どもの行動を見直したり、その背景にある心情面をほりさげたりすることともかわりが大きいと考えます。

本校では、学校教育目標達成に向けて「あいさつは笑顔をそえてわたしから」「1メートルのやさしさそうじ」「心を正すはきものそろえ」(「心を正すはきものそろえ」は一校一行)の3点を具体的実践事項として継続指導してきました。日々の子どもの生活実態を再度見つめ直し、特に規範意識に視点をおきながら、「当たり前」のことが「当たり前」にできる子どもの育成をめざして、一日一日の指導の充実に取り組んでいます。

(3) 特色ある教育活動の充実

～信頼される学校としての根っこづくり～

総合的な学習の時間「おはようタイム」・「ふるさとタイム」や生活科、生活単元学習の年間指導計画を見直し、社会的物事や科学的事象などへの興味や関心を広げるとともに、命の尊さ・自然に対する畏敬・人の心への温かさ・自己実現への意志・社会生活の規範といった道徳的価値への気づきを深める活動の実践を充実していきたいと考えます。そのため、「体験のシャワーは出会いのシャワー」として、学校外から多彩な人材(ゲストティーチャー)を招いてお話を聞いたり、本物に触れたり、実際に行動したりして、子どもが人・もの・自然へのかかわりの中で、自らの気づきをより一層深め、人の心の温かさを感じ、活動への意欲や視野が広がるように、指導内容の充実を図ります。

(4) 研究の柱

<「総合単元的な学びのスタイル」の創造>

本校では、日常的な活動や他教科・他領域との関連を考えて進める教科や単元の学習活動を【総合単元的な学び】と名付けており、【総合的な学習の時間】はもちろんのこと、【総合単元的な道徳】【総合単元的な国語】という考え方を「若葉のスタイル」として進めていきたいと考えています。

また、「若葉の学びのスタイル」としては、一つの単元、本題材などの学習過程として【W型追究過程の設定】を実践しています。子どもの学びの姿【考える主体(我)と関わる主体(対象)への往復運動】を図式化したW型追究過程を想定することで、教師の学習への願い(ねらい)と子どもの学習の筋道(気づき求め続ける姿)が明らかとなり、多様な活動を用意したり、子どもの学びの姿を見届ける中で弾力的に単元を構成したりできるようにしました。この追究過程をもとに単元を展開する中で、今まで漠然と見ていたことの中に、驚きや感動を伴った新たな発見や気づきが生まれ、体験したり情報を集めたり表現したりする中で、実感・納得・感動のある学習が実現することを目指しています。

1 学校経営管理全体計画（構想）

学校教育目標 自己の生き方にきびしく 人の心にやさしく ともに生きる子ども の育成

がんばる子
自己管理できる子
- 意欲・真剣・耐性 -
強い意志

やさしい子
他者への温かい働きかけができる子
- 思いやり・はげまし・心くばり -
温かい心

心つなぐ子
生活の秩序が保てる子
- 規範・自然への畏敬 -
和

学びの「根っこ」を育てる
＜教科指導の充実と
確かな学力の育成＞
（国語力の育成）

- ・基礎基本の確実な定着
- ・思考力、問題解決能力
- ・読解力・表現力
- ・コミュニケーション能力
- ・指導と評価の一体化
- ・少人数指導の充実
- ・自学自習の学習習慣の育成

学ば主体を育てる
授業づくり
意欲と志を育む
校風づくり

人間としての
「根っこ」を育てる
＜心に響く道徳教育の充実＞
（規範意識や社会力の育成）

- ・体験を生かした道徳教育
- ・道徳の時間の充実
- ・人権教育の充実
- ・心のノートの活用
- ・自分を見つめる日の実践
- ・朝の読書タイムの充実
- ・異年齢交流活動の充実



若葉っ子の合い言葉
 あいさつは笑顔
 そつえはわたし
 一メートルのやさしさ
 心を正すはきものそろえ

信頼される学校の「根っこ」を育てる
＜特色ある教育活動の充実＞
（望ましい集団の育成）

- ・生活科、生活単元学習、総合的な学習の時間（知の総合）の充実
みつめる、かかわる、夢をかくむ「おはようタイム」「ふるさとタイム」
- ・温かい雰囲気醸し出す学級集団の育成
- ・協働と思いやりの学年集団の育成
- ・特別活動の充実（友だち集会）

＜開かれた学校づくりの推進＞

- ・ウイークエンドクラブの実践
- ・「ハートフル若葉」の発信
- ・地域人材バンク「ワカバンク」の拡大
- ・学校評価の公開と活用



若葉教職員の信条
 全員の子どもに
 自主性・主体的な
 学びの機会を
 提供する
 若葉教育の根っこ
 心を育てる

若葉教育の「根っこ」
心のふるさとづくり
 人・もの・自然を愛し
 ふるさとの歴史、文化、伝統を重んじる
 子どもを育てる

一校一行
心を正すはきものそろえ